

2017 年度第 4 回 日本学連幹事会 議事録

開催日時：2018 年(平成 29 年)3 月 8 日(木曜日) 13:00~17:00

開催会場：栃木県日光市光 ホテルファミテック研修棟

議事録作成者：広報部長 坂野 翔哉（東京理科大学）

議題

1. 今年度のまとめと来年度の展望.....	3
2. 35 周年企画について、目安箱について.....	5
3. 技術委員会について	6
4. インカレ報告書.....	7
5. 日本版 NCCA 設立について.....	8
6.会計報告	9
7.後援大会申請について	9
8. 学連主催による JOA インストラクタ講習会開催について.....	10
9. 事業計画について	11
10.各部局活動報告	11
11.地区学連活動報告	12
12.次回幹事会について	12

出席者（敬称略）

氏名	役職	学校名
山川 克則	副会長	東京大学卒
瀬川 出	幹事長	東京大学
成澤 春菜	副幹事長	フェリス女学院大学
竹内 公一	会計	名古屋大学
矢野 峻平	事業部長	大阪大学
森川 俊成	次期事業部長	京都大学
坂野 翔哉	広報部長	東京理科大学
山川 登	広報部局員/次期広報部長	東京大学
上村 太城	次期広報部局員	慶應義塾大学
吉澤 佳奈	事務局長	日本女子大学
久野 公愛	次期事務局局长	日本女子大学
堀江 優貴	渉外部長	東北大学
種澤 遼太郎	次期渉外部長	東北大学
臼井 沙耶香	普及部長	東北大学
塩平 真士	会計監査	北海道大学
佐藤 遼平	会計監査	東京大学
丸山 真輝	北東学連幹事長 /次期技術部(仮)局長	東北大学
小山 友綺	北信越学連幹事長	金沢大学
上野 康平	関東学連幹事長 /次期公認大会 WG 委員	東京工業大学
渡辺 鷹志	次期関東学連幹事長	慶應義塾大学
西嶋 就平	東海学連幹事長 /次期副幹事長	名古屋大学
南雲 裕貴	次期東海学連幹事長	名古屋大学
遠藤 匠真	関西学連幹事長/次期幹事長	大阪大学
藤本 拓也	次期関西学連幹事長	京都大学
下江 健史	次期中九四学連幹事長	広島大学

1. 今年度のまとめと来年度の展望

要旨

来年度幹事のためにも、今年度やったことのまとめ、来年度以降目指してほしいことの認識を共有した。

瀬川	<p>【資料 1】今年度の方針としては、学連加盟員の増加を目指した。具体的な施策は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日本大会の継続。E 権付与に関する改革。 ・加盟員増加の継続をすすめるための施策。加盟校基準の引き下げ、加盟登録費の値下げ、新歓 HP ページの作成。 ・学連合宿の開催、技術委員会の立て直しを行った。学連合宿をもっと多くの参加校を集めること、地区学連との共催やスプリントの競技リテラシー向上を目指したい。今後関西地区やスプリントのリテラシー向上でも合宿を開催したい。 ・インカレの継続性の確保、とくに会計方式や収益改善についての相談。 <p>できなかったことは次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生大会への協力、運営ノウハウ共有/資材の貸し出し/渉外活動の情報共有など。これについては JOA の村越さんがいらっしゃった第 1 回幹事会でも話題があがったが以降進展はなく、JOA との協力が不十分であったとも言える。 ・後援申請への反応が不十分でなにもできていない。情報共有する仕組みやメリットの提供を目指したい。 <p>他に共有すべき議題はあるか。</p>
坂野	<p>各部局で人員が必要という話はないか。挙げられたように仕事は常にあり、会計状況も良いのであれば、幹事をサポートする人員をもっと作って良いのではないか。</p>
瀬川	<p>人が増えることに幹事は誰も反対はないと思う。今年度幹事の一部は来年度も新設の委員会等で日本学連の活動があるが、みな忙しいことが予想されている。各部局で人手が欲しいということはないか。</p>
吉澤	<p>事務局は加盟登録作業が主な業務だが、日光の使用申請は大変なので別の担当者がいれば、受け持って欲しい。人が増えたらそれらを受け持ってもらえる状況にはあるが、来年度も現状 1 人体制の予定。</p>
堀江	<p>渉外部は、現状は 1 人で大丈夫だが、山川さんの今後の都合次第というところもある。</p>
矢野	<p>事業部は 1 月以降が繁忙期なので、その期間だけ人がほしい。</p>

瀬川	幹事会に来ることが幹事のメリットと言えるが、そうでなくただ仕事を振られることを引き受けてくれる人はなかなかいないと思う。幹事会に来ないような、来る必要のないような部局員はどうしたら集まるか、どうしたら引き受けてもらえるか。
成澤	以前は事務局の加盟登録作業で賃金を払ってアルバイトを募っていた。そのような仕組みにならないか。
瀬川	各部局の活動費は近年 0 円が並んでいる。以前はそういった業務に使っていたのではないか。活動費にはそういう使用方法があることを知っていてもいいと思う。常識の範囲内で活動費を事務作業の報酬に回してもいいと思う。
吉澤	東京都の最低賃金を参考に報酬を支払い、事務作業を任せていたこともあった。
坂野	HP が過去に遡りにくいという意見をもらったことがある。具体的に使いにくい点はあるか。
瀬川	そう感じることはある。議題がいつから発生したのか、辿りにくい。議事録やページに議題へのリンクが挿入されていると有り難い。
上野	検索を使用すればある程度調べられる。
坂野	ブログ形式のシステムを使用していて、遡りにくいのは仕方がない部分がある。形式の改善や、さらにテレイン wiki 等のシステムが必要なら、サーバー移転も視野に入れなければならない。なんとも言えないので、未来に託す。
瀬川	来年度以降は地区学連セレと全日本がかぶりにくいため、ロングセレ E 権保持者が全日本 E 権免除という形式にはなりにくいという山川さんの意見を頂いている。これの制度も見直しが必要になる可能性がある。 新歓や加盟校数を増やすことについては、日本学連の大きな目的として引き続き何らかの役割をしていってほしい。 インカレ運営、特に秋のスプリントや会計制度については来年度幹事会の大きな議題になると思う。
瀬川	次期幹事長が遠藤、副幹事長が西嶋と決まった。 全日本大会のワーキンググループがある。地域クラブの京葉 OL クラブ、業者として YMOE や NishiPRO が参加しているワーキンググループがある。これに来年度から上野が参加することになった。 丸山も技術委員と連携する幹事として来年度部局の新設を目指す方針。幹事会に技術部局の新規設立も視野に入れている。先程の人手不足とも関連するが、新 4 年が幹事会に残るため、人も増えるので活発になって欲しい。
瀬川	来年度は 2 年に一度の活動報告書の作成年度である。
佐藤	私がやります。
坂野	活動報告書作成委員会・委員長をここで決めるということになるが、来年度幹事

	が務めて問題ないのか。
瀬川	幹事が OB かは関係なく、毎回やれるひとがやっているようだ。記事の収集と、体裁の編集をしてもらう。佐藤にまかせることとする。

2. 35 周年企画について、目安箱について

瀬川	35 周年企画として検討していた、トレインガイド作成が目安箱にも投書された。個人サイトでは内容の維持管理が放棄されがちであるため、日本学連でできないかという案だった。これは実現可能か。これに合わせて、どんな情報がほしいか。
上野	運営のノウハウがネット上には乏しい。非常にわかりにくい。まとまった情報がほしい。
塩平	自分の地区学連ではない他の地区のトレイン情報が乏しいため、インカレ対策合宿開催地が決めにくい。トレイン特徴や類似性も情報がほしい。
瀬川	情報共有サイトが日本学連主導で欲しい、という意見だったが、別に日本学連がやる必要はないと思う。JOA が管理できればそのほうが良いと思う。
坂野	加盟校へのネットワークはあるので、各大学の所有トレインや、その地区のトレインをフォーマットに合わせて把握できる限り提出を要請する、というのなら日本学連で可能だと思う。しかし、トレインの現状というのは所有クラブでも把握しきれていないことが多く、情報の質を維持するのも難しい。日本学連の維持している日光地区にしても、刻々と変化する情報を山川さんでしか最新情報を知らない。
遠藤	関西では地域クラブ HP のトレイン情報が古く、頼りにしていない。噂や人づてで情報を得ている。誰に聞けば何が分かるかさえ把握できれば。
坂野	集約的なサイトよりも、やはり wiki 形式で誰でも編集できるようなものが必要とされているように感じた。しかしそれも誰も書かなければ廃れてしまう。本当にやろうと思ったら全国の担当者にメールするだけでなく、現地に赴いての状況調査等に予算を割く必要もあるのではないか。
成澤	地区学連単位での担当者を作り、作成を統合するのはどうか。
瀬川	関東学連で 2003 年頃に作成されたものがあったが、やはりそれ以降維持されていない。担当を分散させると維持が難しい。今後地区単位でトレインの情報提供をお願いする可能性は十分にある。
上野	サイトを作ることと HP を管理する程度なら私でもできます。

瀬川	35 周年記念として公開するのを目指したい。あと 2 年後である。
瀬川	式典は開催したい。今まで歴代の努力によってインカレの維持や学連が成り立っている。これを期にそれらを振り返るとともに、今後の学連や加盟員の利益になるような、お金や時間のかかる事業が可能と思う。他に提案はあるか。
遠藤	学連のロゴを作る、プロに委託などできないか。
瀬川	それもいいと思う。今後詳細を考えて行って欲しい。

3. 技術委員会について

瀬川	<p>技術委員は若手 OB が加入し合宿運営など行っていた。若手 OBOG が技術委員になる流れが途絶え、昨年度は 1 回も開催できなかった。今年度は近い OBOG へ頼んで富士と矢板で開いていただいた。この合宿運営者を技術委員会へ誘ったものの、実態がわからない等の理由で断られている。合宿は補助金が充てられることもあって、技術委員を派遣しないと学連合宿を開けないルールがある。委員がないからと言って無分別に開催し、補助金を得るのはおかしいが、技術合宿が開催されないよりはこちらからお願いして開催してもらおう方がいいと考えている。</p> <p>これについて、技術委員のうち事務作業部門を技術部局として学連幹事として今後の新設を目指す。来年度から丸山が担当し、枠の配分計算や学連合宿の取りまとめと承認、インカレ実施規則の改善などを行って欲しい。</p>
坂野	技術委員会の承認は得られそうなのか。
瀬川	すべて不明。連携が取れていないので今後打診する。なんでも技術委員に頼むのではなく、学生側でできることはやっていきたいと考えている。
西嶋	技術委員会 HP はどうやって更新しているのか。
坂野	今年度の学連合宿に関する多くは私が編集していた。終盤には合宿運営者の OB さんに新規の編集権限を発行して学連合宿の要項掲載などがなされた。
瀬川	地方でも開催できるので、ぜひ候補があれば提示して欲しい。例えば地区学連で死蔵しているテレインを使ってほしいなど、合宿開催を活かせる場があると思う。

4. インカレ報告書

要旨

2018 年度までの全日本 E 権保持者はロングセレ免除の制度があったが、人数増加により再考基準を越えたため制度の撤廃の方針が決定された。2019 年度については全日本 E 権保持者がセレよりも全日本大会出場を選んだ場合には推薦で通りやすい形にするよう地区学連へお願いする。2020 年度以降の日学の方針は、JOA 側の決定を待ってから再度策定する。JOA と学連は全日本大会とインカレに関して協調して制度設計する必要がある。

瀬川	<p>報告書を参考に、学連に対する検討事項を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スプリントのイベントアドバイザーの設置については、この場に理事がないので見送る。 ・枠配分はインカレ終了後 2 週間以内に公表しなければならない規則がある。この規則が形骸化していて、計算されていなかった。 ・シード選手決定が遅いこと、これも理事との相談になる。 ・実行委員会で資材を購入したいとのこと。20 万円未満なら幹事会で承認できる。これは実行委員会予算ではなく、学連が購入する。購入した資材は学連が管理するが、つまり山川ハウスに置くということ。実行委員会から購入の要望を出してもらえたら幹事会で審議する。 ・インカレ規約の更新が遅れている。毎回インカレ規約の不適用申請が理事会に送られてきていて、今回は JSOM2017 の適用を行った。インカレ規約ではこれにも対応できていない。JOA の競技規則は JOA の競技委員会が決められているように、学連の技術委員会が更新を行ってほしい。JOA 競技委員会との連携もしてもらえたらと思う。 ・参加費の設定について、以前に日本学連でアンケートが行われた。参加費設定はインカレ実施規則になく、毎回の実行委員会で決める。参加費設定の規則化や過度な要望は避けてほしいとのことだった。これについて、そのアンケートは学生の印象を調査したもので、スプリント部門の発展のためにどれだけ学生が参加費を払おうと思うのかを探りたかった。インカレ実行委員会のもつ参加費設定の権限を奪う意図はまったくなく、インカレの参加費を学連で決めることではないということは今後の幹事も留意しておいてほしい。 <p>報告書を通して、学連と実行委員会の意思疎通の不足を感じた。過去の報告書にも書かれていることが解決されていないようである。また、スプリントのルール周知不足やリテラシーの問題が指摘されている。</p>
坂野	<p>資材購入について、実行委員会からの購入要望と幹事会の時期が噛み合わないかと、購入は事後承諾になってしまわないか。</p>
竹内	<p>20 万円以下に抑えてもらって、幹事内で連絡し検討できたらと思う。</p>

瀬川	運営者がいない状況で議論しても机上の空論になってしまう、具体性がなく求められていることが読み取れない。理事やインカレ実行委員会経験者を次回幹事会にお呼びするのがいいと思う。
瀬川	スポンサーの獲得について、LED ディスプレイは広告を流すなどでスポンサーを獲得できるのではないかとの意見。演出についてはアンケートを行った。
成澤	アンケートでは演出はポジティブな印象だった。選手権出場者は演出を見られていなく、応援に使用するものなのであまり長時間体験できなかった。インカレの特別感や盛り上がりにはなったようだった。具体的な内容は次回インカレ実行委員会へ引き継ぐ。
瀬川	実行委員会のボランティアだが、負担は一部に集中する。継続性のためには対価も必要ではないか。手当を出すにしても参加費増加が必要だが、例えば 2000 円値上げして参加者数は変わらないか。加盟員への影響はどこまでか。
坂野	参加者数は運営者数の 20 倍として、2 千円値上げても運営者は平均で 40000 円の報酬になるか。それでも日当にしたら数千円だろう。
上村	1 年生にとって参加費は高い。新人割は作れないか。
丸山	地区学連で選手権費を負担しているところもある。もっとそういう費用負担が行われないか。
上野	クラブで選手権費だけは負担している。
坂野	それは結局加盟員から集めたお金であるため総負担額は変わらないと思う。
遠藤	他競技から見ればオリエンテーリングは参加費が安すぎる。自活するのでなければスポンサー獲得しかない。
瀬川	それは誰がやるのか、そんなことできるのか。結局学生はお金がないということになる。理事や実行委員会と直接話したい。

5. 日本版 NCCA 設立について

瀬川	NCCA はアメリカの学連横断的な学生スポーツ連盟。文科省に学生スポーツ部門が設立されて来年度から運用が始まるらしく、我ら日本学連も参加することになる可能性がある。
----	--

6. 会計報告

竹内	2017 年度決算案について。ICSL の赤字補填と幹事会関連で増加、加盟金は追加振込があったので変更が生じる。支出項目で各部局活動費は渉外部を除き 0 円。
瀬川	2016 年度の春インカレマキノの貸付金が帰ってきた。大幅黒字。
竹内	2018 年度予算案について。賛助金が増加したため増額した。インカレへ貸付金の支出を行っていないので 0 とした。幹事の増員があり、支出項目の幹事会交通費を増額した。
坂野	私個人の幹事会交通費の精算を何度か後日連絡して、振込で対応してもらっていた。高速道路 ETC 料金や、帰りの交通費が現地では分からず、それが高額になる。申請のフォーマットや、手段について問題なかったか。
竹内	振込手数料の発生や手間がかかるので、基本的には現金で、幹事会ごとの現地精算が望ましい。今年度のように少人数の振込対応なら問題はない。
臼井	賛助会員に「いぶき」の送付を行うが、送料が生じる。今年度分の会計申請はいつまでか。
竹内	次回総会で行う。それまでに報告をお願いしたい。
瀬川	今年度は現時点までで 600 万円の収入に対し 300 万円の支出がある。地図作成費の支出を含まないが、大幅黒字になる模様である。有意義なことに資金を使用していくことは問題ないので、有用な利用方法について引き続き考えていって欲しい。

7. 後援大会申請について

吉澤	幹事会までに届いた後援大会の承認を行う。なお、すでに後援している 2018 年 6 月 3 日の第 40 回東大 OLK 大会から連絡が来ていて、公認大会の申請中とのことである。今回の後援申請は 2 件でした。
	2018 年 9 月 1-2 日 第 12 回名大大会の後援を全会一致(13)で承認
	2018 年 11 月 11 日 第 39 回早大 OC の大会の後援を(13)で承認
吉澤	東工大大会は承認が済んでいるものの、日程と要項に変更があったため確認だけをお願いする。

8. 学連主催による JOA インストラクタ講習会開催について

山川	<p>【資料 2】全日本 21E 資格の中にロングセレ免除があることを解消し、今後は学生の大会や、特にセレは昨年 12 月の公認京葉大会に併設して、公認大会資格も得られるようにした取り組みがある。この流れを今後学連としても積極的に推進していきたい。</p> <p>学生クラブ主催大会の公認大会化の流れも進んできているが、本来ならクラブ内部に JOA 公認資格であるインストラクタか、できればディレクタを置くことが義務付けられている。山川ハウスで、学連関係者は参加費無料・交通費も学連から支給で開催してはどうか。</p> <p>資格取得とともに、大学ごとに蓄積されている大会運営ノウハウの共有も行っていけたらと思う。</p>
瀬川	<p>参加費補助はいいと思うが、20 万円を超えた場合には総会での承認が必要になるが、まだ具体性のない計画なので間に合わない。春の総会ではその説明のみを行い、秋の総会で事後承諾を求めるか、幹事会承認で済む 20 万円を限度にするかできないか。</p> <p>また、大会運営に関してどのような情報が求められているか。</p>
遠藤	<p>チェックリストがあればもっと楽に運営できるように思う。運営に関する資料は欲しい。</p>
坂野	<p>イベントアドバイザー向けのチェックリストはあるが、具体例は少なく、経験は必要になる。</p> <p>山川ハウスに 20 人の時点で狭い。20 人の上限を設けてはどうか。それなら 20 万円以内で収めることもできないか。</p>
瀬川	<p>交通費を含めると一人 1 万円は少なすぎる。全地区から来て欲しいので、もっと高額になると思う。交通費補助は半額にするか。</p>
塩平	<p>北大からは飛行機代だけで精一杯になって、半額では参加しにくい。交通費全額負担は助かる。</p>
山川	<p>クラブの財政状況や開催地との距離に関係なく、多くの加盟員にインストラクタ資格をとってほしい。学生の運営方法の情報共有や、大会の発展を担っていくような講習会にしたいが、求められている情報が不明なので参加者を集めた上で、ヒアリングも行いたい。</p> <p>私は多忙だが、講師を頼む当てがいたので全て任せたい。インストラクタ資格取得のため最低限必要な講義については JOA から講師を呼ぶ。私も場所の提供と監修はするが、教材はすべて講師らに任せたい。</p> <p>開催に際して交通費以外にも、資料代や講師への依頼料、少額だが宿泊費等はかかる。</p>

瀬川	人数制限は必要になる。
山川	山川ハウスのキャパシティが参加上限として有効である。インストラクタ講習会の開催は各都道府県協会に任されているので学連でも開催できる。また、学連独自のカリキュラムを策定しても問題ない。

9. 事業計画について

山川	簡単に報告する。事業計画の様式を策定したものの、複雑で使いにくいのもっと簡易化する。事業計画の規約化はまだ少し先になる。 日光例幣使街道の修正の会計作業が未完成だが、終わりは見えてきた。塩谷田所の修正にめどが付いた。矢板幸岡の修正をして東工大大会の N/G クラスで使用したいとの要請がある。修正予算は幹事会決済で行いたいと考えている。
瀬川	資料【2017 年度秋インカレ学連向け最終会計報告】秋インカレで生じた赤字補填の承認を行いたい。20 万円について以下なのか未満なのか、確認ができていない。
山川	秋インカレの予算では県の補助金を得るために、まず学連の 20 万円をもらう前提で作られている。岐阜県の補助金が非常に厳しい制度で、学連にも赤字は負担していただかないと困る。
瀬川	それは秋の総会で決着して欲しい。
山川	古い地図規約を修正しなければいけないため、総会で確認を取る。

10. 各部局活動報告

瀬川	各部局長は前回幹事会以降の活動報告をしてください。
堀江	渉外部は矢板・日光地区に回覧書を郵送した。
吉澤	第 40 回東大 OLK 大会の後援承認書を送付した。インカレ委員会に印鑑を貸すなどした。
坂野	前回幹事会の議事録を発行した。山川さんから資料がいただけていない。

矢野	第 4 回幹事会の宿泊・参加者交通の取りまとめを行った。後夜祭・講習会の要項を公開した。後夜祭講習会の運営を行い、引き継ぎをする。
臼井	春インカレの観戦ガイドを作成し連絡した。フライヤーの取りまとめを行う。
竹内	12 月 31 日の 2017 年度加盟員登録締切にあたり、登録費の追加振込を確認した。

11.地区学連活動報告

瀬川	各地区学連幹事長は前回幹事会以降の活動報告をしてください。
上野	関東学連は 12 月 17 日にミドルセレを開催した。2 月 4 日の山リハリレーに関東学連団体戦を併設、2 月 20 日に関東学連総会を開催した。
丸山	北東学連はあす最後の総会がある。引き継ぎも行う。
遠藤	1 月 27 日に近畿 OL 連絡会に出席、2 月 11 日に第 5 回総会を開催、2 月 18 日にウェスタンカップリレー大会を開催した。ウェスタンカップは 4 年に 1 度の周期で、今年度は学連が行った。
小山	北信越学連は 3 月 4 日に新潟大学主催の練習会を行い、総会も開催する。ここで引き継ぎも行う。
西嶋	東海学連は 3 月 17 日に最後の総会を開催予定。愛知県 OL 協会より、作手地区のトレイン管理者制度が開始された。3 月 31 日にある講習会で研修を受けた者が運営者にいないと、愛知県のトレインが使用できなくなる。
下江	中九四学連は 3 月 6 に練習会、インカレ中に総会開催と引き継ぎを行う。関西学連セレにロングとスプリントセレ併設をお願いしたいと考えている。
遠藤	関西はロングセレを全日本大会にする予定である。
下江	では関西学連にはスプリントだけ併設をお願いしたい。

12.次回幹事会について

瀬川	次回幹事会は 6 月 3 日の第 40 回東大 OLK 大会にあわせて 6 月 2 日に開催予定。
----	---